

3つの履修モデルを用意

学生の関心に対応する幅広い科目をそろえ、学生の履修の参考として、3つの履修モデルを提案しています。

- ①文学・翻訳系／英語圏文学・文化を深く学ぶ
- ②キャリアイングリッシュ系／仕事に使える実践的な英語力を身に付ける
- ③グローバル文化系／世界の歴史と文化を英語で理解する

カリキュラムの POINT

カリキュラム		Zoom in! [本学科の注目科目をご紹介します]				
Zoom in! >>> 02 56ページ		第1年次以上	第2年次以上	第3年次以上	第4年次以上	
専攻科目	基礎科目	●英米文学・文化基礎講読○ ●基礎演習○ ●リーディングスキルIA・B○ ●スピーキングスキルI○ ●ライティングスキルIA・B○ ●CALL演習A・B○	●リーディングスキルII○ ●スピーキングスキルII○ ●ライティングスキルIIA○ ●ライティングスキルIIB			
	英米文学・文化	Zoom in! >>> 01 54ページ ●英米文学・文化概説○	●イギリス文学史A・B△ ●アメリカ文学史A・B△ ●英米文学・文化講読A～C△ ●英米文学・文化論特殊講義 ●イギリス文化論 ●アメリカ文化論	●英米文学・文化研究A～C△ ●英米文学特殊講義		
	キャリアイングリッシュ	Zoom in! >>> 03 56ページ	●観光通訳基礎 ●会議通訳実践 ●会議通訳基礎 ●会議通訳実践 ●翻訳基礎 ●翻訳実践 ●TOEFL®セミナー ●TOEIC®セミナー ●コミュニケーション概論A・B	●キャリアスピーキングA・B ●キャリアライティングA・B ●パブリックスピーキング ●アドヴァンストイングリッシュ		
	英語学		●英文法A・B ●英語音声学	●英語史A・B ●英語学講読A・B		
	特殊			●演習I○	●演習II○ ●卒業論文	
関連科目	フランスを散策する		●フランス食文化研究 ●フランス現代社会論 ●フランス事情 ●フランスモード研究 ●フランス史研究 ●フランス表象文化論 ●フランス文化遺産論	●フランス文学研究I・II ●フランス映画論I・II		
	ヨーロッパに触れる		●ヨーロッパ・地中海文化史A・B ●ヨーロッパ文学論A・B ●ヨーロッパ・ケルト文化論A・B ●ヨーロッパ史A・B ●古代キリスト教文化論A・B			
	アメリカを考える		●アメリカ・太平洋文化史A・B ●アメリカ史A・B	●アメリカ思想文化論A・B		
	アジアと日本を知る		●日本文化史A・B ●日本文化論A・B ●中国・アジア文化史A・B ●東アジア古典思想A・B ●日本史概論A・B ●日本文学論A・B ●中国文学概論A・B			
	文化・芸術・言語に親しむ		●比較文化史A・B ●文化人類学A・B ●表象文化論A・B ●表象文化論A・B ●表象メディア論A・B ●芸術文化史A・B			
	現代社会・世界をとらえる			●ジャーナリズムA～D		
	情報リテラシーを身につける	●海外語学学修I・II ●英文ワープロI・II ●情報活用基礎 ●情報処理応用IA～IE ●情報処理応用II・III		●言語学A・B		
	その他	●特殊講義				
	キリスト教学	●キリスト教学I・II○ ●キリスト教人間学A・B				
	人文学	●西南学院史 ●哲学 ●倫理学 ●論理学 ●日本史学 ●東洋史学 ●西洋史学 ●美術史 ●日本文学 ●西洋文学A・B ●中国文学 ●音楽史 ●心理学I・II				
社会科学	●法学(日本国憲法2単位を含む。) ●経済学 ●社会学I・II ●政治学 ●国際関係論 ●地理学概論 ●人権問題論 ●同和問題論					
自然科学	●数学入門I・II ●情報数学I・II ●物理学入門I・II ●生活の化学I・II ●地球科学I・II ●環境地理I・II ●生命科学I・II ●自然科学概論I・II ●環境の科学I・II					
スポーツ科学	●スポーツ理論I・II ●スポーツ実習I～IV					
外国語	●フランス語 ●ドイツ語 ●中国語 ●韓国語 ●イタリア語など					

※○印は必修、△印は選択必修

Zoom in! >>> 02

【基礎演習】

英文学科での学びの土台作りのひとつとして、英米文学・文化関係のテキストを読むための語彙力や文法力を高め、レポートや論文の書き方、プレゼンテーションの方法等を学びます。総括としてレポートを完成させます。

Zoom in! >>> 03

【会議通訳基礎・実践】

通訳トレーニング用の語学技能訓練を学びながら、英語学習法のレポーターを増やし、英語総合力をアップします。現役通訳・翻訳者の体験談を交え、国際会議での通訳のコツなどを初心者に合わせてわかりやすく紹介します。

学科の学び TOPICS

グローバルに活躍する講師を海外より招聘し、文化や芸術の最先端を体験する 英文学科主催講演会

2015年度は、海外より著名な講師をお招きし、英文学科主催講演会を3度開催しました。6月5日には、アイルランド大使館二等書記官であるエリオット・ミルトン氏に「現代アイルランド社会における女性の現状」についてお話しいただきました。また6月29日には、現代アメリカにおける新進気鋭の映画監督トーマス・アレン・ハリス氏による映画*Through a Lens Darkly*の上映会及び監督自身による講演会を行い、会場では英語による活発な質疑応答がなされました。さらに11月10日には、イギリスの著名な学者J・B・プリング教授をお招きし、イギリス文学と絵画の関係について、美しい映像資料を交えてお話しいただきました。いずれも日本にいながらにして、世界の文化や芸術の最先端に触れることができる貴重な機会となりました。



教員プロフィール

ロナン ブラウン 教授 イギリス文化、英語教育	宮本 敬子 教授 アメリカ文学(小説)、アメリカ文化
江崎 義彦 教授 イギリス文学(詩、イギリス・ロマン主義)	フランク E.オスターハウス 教授 アメリカ文学(小説)、アメリカ文化
藤野 功一 教授 アメリカ文学(小説)、アメリカ文化	C.スコット・ピュー 教授 アメリカ文学、アメリカ文化
一谷 智子 教授 オーストラリア文学・オーストラリア文化	酒井 三千穂 教授 アメリカ文学(小説)
金子 幸男 教授 イギリス文学(小説)、イギリス文化	リチャード ホドソン 准教授 イギリス文学(劇)、英語教育
加藤 洋介 教授 イギリス文学(小説)、イギリス文化	河原 真也 准教授 アイルランド文学(小説)、アイルランド文化
三宅 敦子 教授 イギリス文学(19世紀)、イギリス文化	

主なゼミテーマ

- 英詩の味読
- Metamorphoses: From Ovid to Shakespeare, and Beyond
- 平和を探る言葉たち: 英語文学に表象されたヒロシマ・ナガサキ
- イングリッシュネスとヘリテージ映画 - フォスター作『眺めのよい部屋』(A Room with a View)を読む
- 妖精のアイルランド～共同幻想としての「ケルト」を探る
- 19世紀の消費文化研究: Cadbury社とチョコレートの歴史
- アメリカ映画・文学における人種・ジェンダー・階級表象
- American Culture: Focus on the American Dream

※主なゼミテーマは、2016年度開講のものを記載

卒業後の進路

英文学科の卒業生は、航空業界や旅行会社をはじめとする運輸・旅行関連、新聞社やテレビ局などのマスコミ・情報関連、銀行や保険会社などの金融・保険関連など、各業界に幅広く就職し、活躍しています。また、公務員のほか、公立ないし私立の中学校・高等学校の教員(英語)も数多く輩出しています。なお、本学大学院に進学する場合は、要件を満たしたうえで、3年以上の在学で卒業を認める早期卒業制度があります。



OB & OG's Message 江崎グリコ株式会社 勤務

学生生活について

大学では、英文学を通してイギリス人の習慣や思想を学びました。また、留学生と交流を持つことで、世界各国の人と友達になることができ、それぞれの国の宗教や価値観を受け入れる受容性が養えたと感じます。文学部英文学科は、語学力だけでなく、海外の歴史や文化、習慣を学び、円滑なコミュニケーションができる人になりたいと考えていた私にぴったりの学科でした。西南学院大学には、国際感覚を磨くチャンスがあります。私は学校のプログラムを利用し、フィリピンのボランティアワークに参加しました。そうして国際感覚を身に付けることは、世界を舞台に活躍する第一歩だと思います。勤務先でも、大学で培った国際感覚が、世界のグリコを目指して働く一人の「戦士」であるという姿勢に結びついています。

先輩へのアドバイス

ボランティアでは、カンボジアやインド、ウガンダへも行きましたが、自分の視野の狭さ、現実とは違う先入観を持っていたことに気づかされました。現地の抱える問題をメディアを通してではなく、自分の足で赴き目の当たりにできたことは自分の財産になっていると思います。留学を経験して、あなたも、九州から世界へ羽ばたく一歩を踏み出してみませんか。西南学院大学は、そのチャンスを必ず与えてくれます。



大学で国際感覚を磨く。それが自分を磨き、社会で活躍する第一歩になります。

2010年
文学部英文学科卒業
(福岡県・田川高等学校出身) 湊 亜由美さん